

入間市地域公共交通計画（素案）に対して寄せられた意見等の概要と市の考え方 市民からの意見

入間市では、令和5年1月26日（木）から令和5年2月24日（金）までの期間で「パブリックコメント」を実施しました。その結果、18人の方から26件の意見等が寄せられました。

No.	意見等の概要	市の考え方（対応）
1-1	公共交通利用可能地域の定義について、一律に駅から1km・バス停から300mとされているが、平地と高低差のある地域では負担感が異なるのにそこが考慮されていない。	今後の参考とさせていただきます。
1-2	計画ではバス利用率の低さの原因のひとつを周知徹底不足と分析しているが、実際にはルート増・便数増を希望する人が多いというデータが併記されている。ルートと便数の増加が必要ではないか。	ルートの再編や増便については、本計画に基づき、地域の皆様や地域公共交通協議会での意見を踏まえ検討します。
2-1	各事業の検討・実施のスケジュール表（図7-2）において、事業内容によっては、3年後（令和8年度）からの検討着手もある。企業との連携調整などは時間を要するものもあることから、早めの検討に入る必要があると思う。	今後の参考とさせていただきます。
2-2	本計画の評価は、PDCAによるサイクルがあり、毎年モニタリングを行うとしているが、スケジュール表（図7-2）では、検討・実施までとしている。スケジュール表に評価及び見直しを反映されたら、事業行程の進捗が把握できると思う。	各事業に対する評価は、計画期間終了後に行うだけでなく、PDCAサイクルに基づき、継続的に実施していきます。
3-1	自転車を活用したまちづくりはどうなったのか。自転車が安全に走行できる都市環境を整備すべき。	自転車の環境整備については、関係部署に周知いたします。

3-2	ていーろーど、ていーワゴンの利用者は少なく、利用促進に向けたイベントやキャンペーンは税金の無駄ではないか。	利用促進に向けたイベントやキャンペーンは、地域の皆様や地域公共交通協議会の意見を伺いながら、引き続き、検討・実施してまいります。
4	国道16号は、狭山市駅から入間市駅間に路線バスが運行しているため、ていーろーどが運行していない。ていーろーどを利用する場合、「黒須郵便局」か「黒須小学校」まで行く必要があるので、国号16号においてもていーろーどを運行してほしい。	ルートの再編については、本計画に基づき、地域の皆様や地域公共交通協議会の意見を踏まえ検討します。
5	MaaSアプリの活用により、あらゆる交通サービスをワンストップで検索・決裁・利用ができるようになれば、市内の移動が便利になるので導入してもらいたい。	今後の参考とさせていただきます。
6	武蔵藤沢駅西口周辺は、人を引きつける商業施設がない。今年中に「来てよかった、住んでみたくなった、働いてみたくなった」と実感できる施設を誘致し、武蔵藤沢駅に通ずる公共交通を整備すべき。	商業施設等の誘致については、関係部署に周知いたします。公共交通の整備は、本計画に基づき、利便性の高い公共交通を目指してまいります。
7	国道463号線沿いに農産物直売所が建つと聞いたが、ここからアウトレットやアリットへ行けるようにしてほしい。	ルートの再編については、本計画に基づき、地域の皆様や地域公共交通協議会の意見を踏まえ検討します。
8	博物館下のバス停から博物館までは、坂道となっており、高齢者にとって時間がかかる。バス停を博物館入口付近にしてほしい。	運行事業者者に周知いたします。
9	すべてのバス停に座って待機できる待合所を設置してほしい。	今後の参考とさせていただきます。

10-1	スケジュール（P48）については、時間がかかりすぎてスピード感がない。特にEV・FCV車両の導入は、地球温暖化のためにすぐに実現すべき。西武バスと交渉すればすぐに導入できるのではないか。	EV・FCV車両の導入については、運行事業者の環境整備や多額の予算が必要となるなど、様々な面で調整が必要となります。
10-2	コミュニティバスの収入額が減少しているのであれば、市議会議員の定数や報酬を削減すべき。	有料広告やネーミングライツ事業などを継続的に実施し、歳入確保に努めます。
11	小谷田付近は利用者が少ないため、ルートから外されたが、現行ルートは、駅にも行かず、モールにも行かないなど、不便という話をよく聞く。早急にルートの見直しが必要である。	ルートの再編については、本計画に基づき、地域の皆様や地域公共交通協議会の意見を踏まえ検討します。
12	小谷田3丁目からていワゴンを利用できるようにルートの見直しを早急に求める。	ルートの再編については、本計画に基づき、地域の皆様や地域公共交通協議会の意見を踏まえ検討します。
13	早急に文化村へていワゴンの手配をお願いしたい。	ルートの再編については、本計画に基づき、地域の皆様や地域公共交通協議会の意見を踏まえ検討します。
14	現行ルートは、不便が目立つ。2年間の検討は、長すぎる。入間市活性化のためにも、出来ることは早急に進め、明るい未来を創ってほしい。	ルートの再編については、本計画に基づき、地域の皆様や地域公共交通協議会の意見を踏まえ検討します。
15	2年間検討している時間はない。ていワゴンが利用できず、困っている人が多い。高齢の方が多い地域では、高齢者に寄り添った早めの検討・導入をお願いしたい。車の無い方や小さな子どもがいる方、身体が不自由な方も住みやすい、まちづくりをお願いしたい。	ルートの再編については、本計画に基づき、地域の皆様や地域公共交通協議会の意見を踏まえ検討します。
16	文化村は高齢化が進み、車を運転できない人が多い。文化	ルートの再編については、本計画に基づき、地域の皆様や地域公

	村から市内の各駅や市役所など主要なところにタクシーを使わず行けるようにしてほしい。	公共交通協議会の意見を踏まえ検討します。
17	高倉地域は高低差が大きく、公共交通が利用できない地域となっている。早期に高倉地域へのコミュニティバスやデマンドタクシーの導入を検討すべき。	デマンドタクシー等の導入については、本計画に基づき、地域の皆様や地域公共交通協議会の意見を踏まえ検討します。
18-1	コミュニティバスは、市民の公共施設等への交通手段を確保することを目的に運行を開始したが、未だ金子地区は改善されていない。P14では交通の利便性の地域的な不均衡を解消し、利便性を向上させることを目指し、コミュニティバスを運行しているとある。	ていワゴン「金子コース」は、平成30年6月、金子地区の住民を対象に実施したアンケート調査に基づきルートを決しました。ルートの再編については、引き続き、地域の皆様や地域公共交通協議会の意見を踏まえ検討します。
18-2	金子地区はバス路線がダブっており、将来ていワゴンの利用者の増加により、西武バスの利用者減少につながらないか。	ていワゴンのルートについては、西武バスと調整を図り、決定しております。
18-3	P30金子駅での住民意識調査がない。	今後の参考とさせていただきます。
18-4	P18コミュニティバス利用者は延べ人数ですが、利用人数の調査をすると方向性も変わってくるのでは。	今後の参考とさせていただきます。
18-5	P20ていワゴン1便あたりの利用者数、この状況ではこの事業は継続できない。当初の目的を達成するため予約制のワゴン車送迎サービスの検討をしてほしい。	新たな交通モードの導入については、本計画に基づき、地域の皆様や地域公共交通協議会の意見を踏まえ検討します。